

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

小さな命、地域猫を助けるために
「福耳の会」代表としてできること

菊田 由美子 さん（伊達地域）

県内で飼い主が見つからず行政に保護される猫の数は約 1,600 匹（令和 4 年度）。このうち半数以上が命をなくし、福島県が全国で最も多い状況。何ができるのか多くの人に伝えるため、菊田さんは今日も命に向き合う。



Profile ●きくた ゆみこ

昭和 40 年生まれ。58 歳。二本松市で生まれ育ち、福島市の「NPO 法人 SORA アニマルシェルター」で動物愛護の重要性を学ぶ。美容室「ジェイズヘアー」開店を機に、伊達市へ移住。



「福耳の会」の活動

保護猫・保護犬の
①譲渡会開催
②里親募集の情報発信
③ TNR*や地域猫に関する啓発などを行っている。

※「TRAP（捕獲）」、「NEUTER（不妊手術）」、「RETURN（元の場所に戻す）」の頭文字。地域猫の健康を守る活動をいう。

平成 24 年に、我が子のように可愛がっていたチワワが亡くなり、どうやって自分が生活していたかもわからなくなりました。それだけの精神状態になったけど、救ってくれたのはやっぱり犬猫たちでした。引きつけられるように犬猫の保護施設に行き、休日は全て動物愛護活動のボランティアに捧げ、「自分の居場所はここだ」と思いましたね。活動は犬の散歩などから始まり、イベントの開催、更にはラジオのパーソナリティも努めたんですよ（笑）。正気にしてくれた犬猫たちに、自分自身の力できちんと恩返しがしたい、令和 5 年に「福耳の会」を立ち上げました。

衰弱してしまった保護猫が元気になった時や、トライアル（猫が新しい家に慣れるか実際に一緒に暮らす）先が決まった時は本当にうれしいです。悲しい目に合ってしまう保護猫を減らすために、家に迎え入れることがゴールではありませんが、大切なことは関心を持っていたかどうかだと思っています。知識を付けて発信すること、保護猫のための募金をする事。ボランティアにはさまざまな形があり、誰でもできるんです。



里親募集中♪



福耳の会
公式 LINE



福耳の会
Instagram

思い返すと、笑顔でいたからできたことばかり。保護主と福耳の会のメンバーには本当に感謝しています。実は、災害時にペットも保護できる施設を作る目標があります。人とのつながりを大事に、目標達成を目指してがんばっていきます。

笑顔で感謝「一日一善」



6月16日⑥に開催した譲渡会には、たくさんの人が来場。10～11月頃にも市内で譲渡会を開催予定。公式 SNS で情報を随時更新中。